成果の説明書

(氏名)　長野　博一	(学部)　地域政策学部

1　重要事項

（1）教育活動

・担当講義：都市政策論、都市計画学、都市経営論、都市再開発論、景観計画論ほか

講義科目では講義資料等を WebClass から提供し、各回で課すリアクションペーパーとその評価は次回講義時にフィードバックした。また良い視点が記載されたリアクションペーパーは講義中の解説時に紹介し、教員の私見と共に受講生へ共有した。全講義を録画し、学生が振り返れるようオンライン上に展開、視聴可能な状況とした。

（2）研究活動（主な履歴）

①学術論文

・西村紘明、渋谷基信、遠藤俊太郎、長野 博一：障害者等用駐車区画の適正利用を促すパーキング・パーミット制度の国際比較を踏まえた我が国の制度改善に関する研究、土木学会論文集 80(10) n/a 2024 年

・西村紘明、荒若佑美恵、渋谷基信、近藤孝則、遠藤俊太郎、長野博一：バリアフリー政策におけるトイレの機能分散の実態と課題に関する研究、土木学会論文集 81(1) n/a 2025 年

②学会発表

・長野博一、別府知哉、庄子美優紀：地方自治体が取り組むバリアフリーマップと基本構想の現状と課題に関する研究、2024 年 11 月 16 日土木学会第 70 回土木計画学研究秋大会

・西村紘明、荒若佑美恵、由﨑浩太、青山直樹、平塚秀樹、渋谷基信、長野博一：これからのバリアフリーまちづくりの進め方についての研究、2024 年 11 月 16 日土木学会第 70 回土木計画学研究秋大会

・榎本慎也、吉岡正人、須賀佑実子、児玉創、船木健、中村大樹、秋田純、長野博一、平野暁、辻善己：大島町地域公共交通計画策定を契機とした体系的な公共交通利用促進・利便性向上の取組み、2024 年 8 月 24 日、第 19 回日本ﾓﾋﾞﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ会議

・榎本慎也、長野博一、吉岡正人、須賀佑実子、児玉創：東京都大島町における交通課題分析と対応策の検討、2024 年 6 月 3 日、第 6 回土木技術者実践論文集研究発表大会

・尾崎拍夢、木下康之、長野博一：調布市における地域公共交通計画などの策定支援、2024 年 6 月 3 日、第 6 回土木技術者実践論文集研究発表大会

・梶谷裟和，児玉一郎，長野博一：公共サインガイドライン作成支援に関する取組み、2024 年 6 月 3 日、第 6 回土木技術者実践論文集研究発表大会

③科研費 C 採択研究（代表者）

・バリアフリーマップの現状と課題に関するレビュー

・バリアフリー基本構想策定自治体が抱える課題の整理（調査を実施）

・国土交通省総合政策局バリアフリー政策課と連携した取り組み　　ほか

④企業との共同研究

・欧州調査研究９月（英国）

英国運輸省・ロンドン市交通局とのミーティング、王立藝術大学院との共同研究

（3）社会活動（主な履歴）

①セミナー等・講師、基調講演など

・地方自治体のバリアフリー政策の現在地点と未来展望（国土交通省関東運輸局「移動等円滑化促進方針・基本構想策定支援セミナー」基調講演）2025 年 1 月 30 日

・現在の UD 施策を市民参加のデザインから考える（国土交通省中国運輸局、バリア

フリーマスタープラン・基本構想作成支援セミナー、基調講演）2024 年 10 月 18 日
・市民参加のデザインによる共創型まちづくり （越谷市、第５次越谷市総合振興計画後期基本計画の策定に向けた市民懇談会、基調講演）2024 年 7 月 28 日
・国土交通大学校専門課程「バリアフリー研修」講師，2024 年 7 月
・民間コンサルタント企業にて技術者研修　講師　2024 年 10 月・12 月　　ほか
②審議会等委員
〇国土交通省
・総合政策局バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会　部会委員
・関東運輸局バリアフリープロモーター　ほか
〇群馬県
・景観審議会　委員
・地震被害想定調査検討委員会　委員
・県土整備部指定管理者評価委員会都市公園部会　委員
・住宅供給公社　中期経営計画等検討委員会等　委員　ほか
〇安中市
・都市計画審議会　会長
・都市計画マスタープラン策定委員会　委員長
・都市計画道路見直し検討委員会　委員長
・磯部温泉地区バリアフリー基本構想等検討協議会　会長　ほか
〇伊勢崎市
・都市計画マスタープラン策定委員会　委員長
〇福島市
・バリアフリー基本構想推進協議会　会長
〇大島町（東京都）
・地域公共交通活性化協議会　委員（職務代行者）
〇調布市
・公共交通活性化協議会　副会長
〇越谷市
・大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会　アドバイザー
〇熊谷市
・人流分析まちなか再生委員会　委員　　ほか
③学会活動
・日本福祉のまちづくり学会　市民参加のデザイン特別研究委員会　委員長
・日本福祉のまちづくり学会　学術研究委員会　委員
・日本福祉のまちづくり学会　地域福祉モビリティのデザイン特別研究委員会　委員
・日本建築学会　居場所研究 WG　委員　　ほか

２　その他の事項
・自治体との連携研究や企業との共同研究などを進める
・学際的な学会との連携を図り、分野横断的な研究を進める

３　次年度以降の計画・抱負
（１）　教育活動　大学院教育の充実を図る
（２）　研究活動　科研（代表者）研究の充実を図る、企業との共同研究を進める
（３）　社会活動　行政機関からの各種審議会等への参画、地域課題解決へ貢献。自治体との連携事業など、地域課題解決へ向けた研究活動との連動を図り、学生の教育啓発へ繋げる